

第109号  
令和5年5月1日発行



発行/室戸市議会  
編集/室戸市議会  
議会だより編集委員会  
住所/〒781-7185  
高知県室戸市浮津25-1  
連絡先/0887-22-5140  
題字/谷 通子



# 室戸市議会だより



第47回 高知県少年野球春季選手権大会

令和5年3月第2回室戸市議会定例会 **会期・日程**

### 3月議会 質問者

山本 賢 誓  
小椋 利 廣  
田 淵 信 量  
町田 又 一  
堺 喜久美

月 日	曜日	会の種別	摘 要	月 日	曜日	会の種別	摘 要
3月3日	金	本会議	開会・施政方針・提案理由の説明	3月13日	月	休 会	委員会
				3月14日	火	休 会	事務整理
3月4日	土	休 会		3月15日	水	休 会	事務整理
3月5日	日	休 会		3月16日	木	休 会	事務整理
3月6日	月	本会議	一般質問	3月17日	金	休 会	事務整理
3月7日	火	本会議	一般質問	3月18日	土	休 会	
3月8日	水	本会議	大綱質疑	3月19日	日	休 会	
3月9日	木	本会議	大綱質疑・委員会付託	3月20日	月	休 会	事務整理
3月10日	金	休 会	委員会	3月21日	火	休 会	春分の日
3月11日	土	休 会		3月22日	水	本会議	委員長報告・討論・表決・閉会
3月12日	日	休 会					



第2回定例会議決結果一覧表

議案番号	件名	議決年月日	結果
議案第1号	室戸市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	令和5年3月22日	原案可決
議案第2号	室戸市個人情報保護審査会条例の制定について	令和5年3月22日	原案可決
議案第3号	室戸市津波避難施設設置及び管理条例の一部改正について	令和5年3月22日	原案可決
議案第4号	室戸市職員定数条例の一部改正について	令和5年3月22日	原案可決
議案第5号	室戸市大学入学準備金貸与条例の一部改正について	令和5年3月22日	原案可決
議案第6号	室戸市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	令和5年3月22日	原案可決
議案第7号	室戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	令和5年3月22日	原案可決
議案第8号	室戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	令和5年3月22日	原案可決
議案第9号	子ども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	令和5年3月22日	原案可決
議案第10号	室戸市国民健康保険条例の一部改正について	令和5年3月22日	原案可決
議案第11号	室戸市水道給水条例の一部改正について	令和5年3月22日	原案可決
議案第12号	令和4年度室戸市一般会計補正予算（第12号）について	令和5年3月22日	原案可決
議案第13号	令和4年度室戸市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）について	令和5年3月22日	原案可決
議案第14号	令和4年度室戸市海洋深層水給水事業特別会計補正予算（第2号）について	令和5年3月22日	原案可決
議案第15号	令和5年度室戸市一般会計予算について	令和5年3月22日	原案可決
議案第16号	令和5年度室戸市国民健康保険事業特別会計予算について	令和5年3月22日	原案可決
議案第17号	令和5年度室戸市介護認定審査会運営事業特別会計予算について	令和5年3月22日	原案可決
議案第18号	令和5年度室戸市介護保険事業特別会計予算について	令和5年3月22日	原案可決
議案第19号	令和5年度室戸市海洋深層水給水事業特別会計予算について	令和5年3月22日	原案可決
議案第20号	令和5年度室戸市障害支援区分認定審査会運営事業特別会計予算について	令和5年3月22日	原案可決
議案第21号	令和5年度室戸市後期高齢者医療事業特別会計予算について	令和5年3月22日	原案可決
議案第22号	令和5年度室戸市水道事業会計予算について	令和5年3月22日	原案可決
議案第23号	室戸市デイサービスセンターにおける指定管理者の指定について	令和5年3月22日	原案可決
議案第24号	室戸市農業農村活性化農業構造改善事業施設（産地形成促進施設、地域食材供給施設、附帯施設）における指定管理者の指定について	令和5年3月22日	原案可決
議案第25号	室戸市農業農村活性化農業構造改善事業施設（地域資源総合管理施設）における指定管理者の指定について	令和5年3月22日	原案可決
議案第26号	高速バスターミナル施設における指定管理者の指定について	令和5年3月22日	原案可決
議案第27号	安芸広域障害支援区分認定審査会を共同設置する普通地方公共団体の数の減少及び同審査会共同設置規約の一部変更について	令和5年3月22日	原案可決
議案第28号	農業委員会委員の任命について	令和5年3月22日	同意
議案第29号	農業委員会委員の任命について	令和5年3月22日	同意
議案第30号	農業委員会委員の任命について	令和5年3月22日	同意
議案第31号	農業委員会委員の任命について	令和5年3月22日	同意
議案第32号	農業委員会委員の任命について	令和5年3月22日	同意
議案第33号	農業委員会委員の任命について	令和5年3月22日	同意
議案第34号	農業委員会委員の任命について	令和5年3月22日	同意
議案第35号	農業委員会委員の任命について	令和5年3月22日	同意
議案第36号	農業委員会委員の任命について	令和5年3月22日	同意
議案第37号	農業委員会委員の任命について	令和5年3月22日	同意
議案第38号	令和4年度室戸市一般会計補正予算（第13号）について	令和5年3月22日	原案可決
議案第39号	室戸市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	令和5年3月22日	原案可決
議案第40号	室戸市議会委員会条例の一部改正について	令和5年3月22日	原案可決

## 議案の説明

### 議案第15号関係 ◎令和5年度室戸市一般会計予算について

市税では、税目毎に前年度の決算見込額等をもとに算定し、全体では、対前年度比0.3%増となりました。地方譲与税、各種交付金、地方交付税は、それぞれ前年度の決算見込額、地方財政計画、国の動向及び県の試算等を勘案のうえ計上しております。

国・県支出金等の特定財源は、所定の算定基準により算定しております。

繰入金は、ふるさと室戸応援寄附金基金繰入金については増となっておりますが、財政調整積立基金繰入金の皆減等により、繰入金全体では、微減となっております。

市債については、普通建設事業費のうち単独事業費は増となっておりますが、補助事業費の減等により、対前年度比0.3%減となっております。

歳出では、義務的経費のうち人件費は、退職手当の減などにより0.6%減、公債費は、市債の償還開始により2.3%増、扶助費は、私立保育所措置費や障害者自立支援給付費の減等により2.0%減で、義務的経費全体では対前年度比0.5%減となっております。

普通建設事業費は、室戸センター施設通信系更新事業や椎名防災コミュニティセンター事業など単独事業費は増となっているものの、市営住宅建替事業など補助事業費の減により、全体として対前年度比2.5%減となっております。

積立金は、庁舎建設事業基金積立金の皆減等により、8.9%減となっております。

#### 主な新規事業

○事前復興・まちづくり計画 基本方針策定業務	756万8千円
○脱炭素先行地域づくり事業支援委託業務	1,100万円
○委託型地域おこし協力隊活動事業	7,647万6千円
○椎名防災コミュニティセンター 用地造成工事	8,232万4千円

#### 主な継続事業

○室戸センター施設通信系更新事業	1億6,565万6千円
○恋人の聖地連携事業	4,534万3千円
○市道等整備事業	5億5,050万円
○消防車等購入費	2,500万円
○中学校非構造部材耐震化工事費	6,952万円

債務負担行為は、財務・起債システム利用業務他10件について、また地方債につきましては、各事業に伴う限度額等を計上しました。



### 議案第16号関係 ◎令和5年度室戸市国民健康保険事業特別会計予算について

事業勘定、歳入歳出予算はそれぞれ対前年度比1億7,330万9千円、6.7%減の総額24億2,132万5千円を計上しました。直診勘定、歳入歳出予算はそれぞれ対前年度比1,208万1千円、17.2%減の5,830万2千円を計上しました。

### 議案第17号関係 ◎令和5年度室戸市介護認定審査会運営事業特別会計予算について

歳入歳出予算はそれぞれ対前年度比1千円、0.02%増の総額647万円を計上しました。

### 議案第18号関係 ◎令和5年度室戸市介護保険事業特別会計予算について

歳入歳出予算はそれぞれ対前年度比7,420万3千円、3.3%増の総額23億5,044万5千円を計上しました。

### 議案第19号関係 ◎令和5年度室戸市海洋深層水給水事業特別会計予算について

歳入歳出予算はそれぞれ対前年度比63万8千円、1.4%増の総額4,613万8千円を計上しました。

### 議案第20号関係 ◎令和5年度室戸市障害支援区分認定審査会運営事業特別会計予算について

歳入歳出予算はそれぞれ対前年度比5千円、0.5%減の総額95万を計上しました。

### 議案第21号関係 ◎令和5年度室戸市後期高齢者医療事業特別会計予算について

歳入歳出予算はそれぞれ対前年度比1,611万6千円、5.6%増の3億426万5千円を計上しました。

**議案第22号関係 ◎令和5年度室戸市水道事業会計予算について**

収益的収支については、収入が対前年度比1.0%減の総額2億8,977万7千円、支出は対前年度比0.6%増の総額2億8,592万6千円を計上しました。

資本的収支については、水道施設の建設改良等を予定しており、収入は当該建設改良に係る国庫補助金及び企業債、簡易水道事業債元金償還金に対する一般会計繰入金等で、対前年度比22.7%減の総額1億3,493万3千円を計上しております。

支出は対前年度比14.7%減の総額2億1,374万1千円で、その主なものは、古戸配水管布設替工事などの工事費及び企業債の元金償還金です。

資本的収支においては、7,880万8千円の財源不足となりますが、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金で補てんすることとしております。

**議案第28号関係 ◎農業委員会委員の任命について**

農業委員会委員に 小松 弘之 氏を任命することに同意するものです。

**議案第29号関係 ◎農業委員会委員の任命について**

農業委員会委員に 島巻 賢二 氏を任命することに同意するものです。

**議案第30号関係 ◎農業委員会委員の任命について**

農業委員会委員に 福富 汎 氏を任命することに同意するものです。

**議案第31号関係 ◎農業委員会委員の任命について**

農業委員会委員に 中島 豊繁 氏を任命することに同意するものです。

**議案第32号関係 ◎農業委員会委員の任命について**

農業委員会委員に 尾崎 考平 氏を任命することに同意するものです。

**議案第33号関係 ◎農業委員会委員の任命について**

農業委員会委員に 細川 季代 氏を任命することに同意するものです。

**議案第34号関係 ◎農業委員会委員の任命について**

農業委員会委員に 濱田 祐司 氏を任命することに同意するものです。

**議案第35号関係 ◎農業委員会委員の任命について**

農業委員会委員に 西岡 豊 氏を任命することに同意するものです。

**議案第36号関係 ◎農業委員会委員の任命について**

農業委員会委員に 川崎 一男 氏を任命することに同意するものです。

**議案第37号関係 ◎農業委員会委員の任命について**

農業委員会委員に 藤岡 義博 氏を任命することに同意するものです。



**3月定例会**  
《一般質問とその答弁》

山本 賢誓 議員

☆市政運営全般について

問 新庁舎移転計画の今後について、住民投票結果をどのように理解、分析しているのか聞く。

答 投票者の多くが耐震補強等を選択された結果を重く受け止めている。

問 諸物価高騰による実勢価格は65億〜70億と想定する。実勢価格での見積もりはどうか聞く。

答 現状において、答えは困難。専門業者に委託し議員に報告する。

問 大地震30年以内の確率70%といわれて10年近く経つ。その確率も高くなっていることから早急に1階、地下の浸水回避対策は優先しなくてはならない。西庁舎を解体して現庁舎の2階部分を延長し、1階相当部分は柱のみとして2階相当部分に必要面積の地下、1階の機能を移す対応をすれば災害時、迅速に対応ができ、防災機能移転費用10億円は半減できる。検討に値しないか聞く。

答 耐震補強と併せて考えることが合理的と考える。



西庁舎の活用も含めて検討を行いたい。

問 計画では5年度用地測量、6年度造成工事、7年度から建設工事着手、こんなタイトな取り組みができると思っているのか聞く。

答 当初のスケジュールどおりの取り組みは困難となった。

問 建築費の暴騰で、室戸中学校の移転、庁舎新築移転、総額100億円にもなるうとする事業を住民投票の結果を踏まえても、やろうとする気持ちに変わりはないのか聞く。

答 移転か耐震化に決定したわけではない。議会への議案上程の時期は決定していない。

問 室戸中学校移転計画について、新築移転費用は実勢価格での概算見積もりを聞く。

答 体育館、プールも含めて28億3千万円から31億3千万円と想定している。

問 移転計画のタイムスケジュールを聞く。

答 令和5年度用地選定・用地交渉、6、7年度造成、建築の実施設設計、8、9年度建築工事を予定している。

問 市内民家の耐震補強工事率の向上について、「命を守る」ための住家の耐震補強は欠かせない。現在の市内

民家の耐震化率を聞く。

答 51・4%と大変低い水準である。

問 年間100件近くを目標とすることが必要であるが、対応できるのか聞く。

答 申請件数の増、申請者の要望に応えられるよう予算措置に取り組んでいく。

問 自己負担についても上乗せ補助の検討をしようか聞く。

答 補助金上限額の見直しについて検討していく。

問 「むろと地域猫の会」について、このグループの方々は活動予算も限られた中、自己負担もされながら、その使命に熱意をもって取り組んでおり、大きな成果を上げながら室戸市に貢献をしてくれている。相当の対応をしていく責任も室戸市にはあると思う。対応を聞く。

答 動物愛護の理念を持った献身的な活動には敬意と感謝をしたい。今後「むろと地域猫の会」の方々と協議の場を増やし取り組んでいく。



小椋利廣議員

☆市長の政治姿勢について

問 庁舎新築移転の住民投票の投票率は、50%に届かなかったが7対3で反対の圧倒的多数の結果から、今後どの様に考えるのか。庁舎より学校高台移転計画に早期に取り組む必要があると思うがどのように取り組むのか聞く。

答 投票結果を重く受け止め、現庁舎を耐震補強する際の防災拠点の在り方、また長期を見通した改修や建て替えと庁舎規模を縮小し移転建て替えをする場合との比較検討が出来る資料を専門業者に委託し、専門業者の意見を伺いながら庁内で協議、検討をして行く。学校の高台移転については令和5年1月に「室戸中学校高台移転基本計画」を策定。その計画に沿い、令和9年度建築工事が終わる次第移転する。

問 エネルギー価格や各種材料、食料品等の記録的物価高騰で経済の秩序が乱れ、市内事業者も悲鳴を上げる今、市内企業や地場産業施設への市独自の経済支援計画を聞く。

答 事業者は厳しい状況であると認識している。室

戸市では、一次産業事業者や中小企業者へ臨時交付金の支給、畜産農家に粗飼料価格高騰対策支援を行い、負担軽減を図った。令和5年度の支援内容は、農業では経営コストの削減対策、畜産業では飼料高騰対策、水産業では漁業者の原油価格高騰に係る負担軽減、生産性向上の経費、定置網漁業の漁網購入経費の支援、商工業では国のセーフティネット保証制度の認定事務を市が行い支援、水産業や商工業者の資金借り入れ利子や、保証契約時の保証料の補助支援を行う。今後も国や県が実施する補助制度と併せ支援に取り組む。

問 2級河川佐喜浜川に建設している舟場頭首工の水門は、完成後50年以上経過して老朽化が著しく、部品も無く修繕も出来ない状態だが、米農家に水は必要不可欠な問題で今後の改修工事計画を聞く。

答 水門ゲートの操作機器の修繕を行い管理に努めているが、設置年数を考えると施設全体の効率的な補修、更新が必要である。緊急性の度合いを判定し、機能保全計画の策定に向け、補助事業の活用や費用対効果の検証を関係機関と協議する。

問 最近の防災行政無線は防災に関する放送だけでなく、火災や行方不明者の捜索、選挙啓発等日常生活に必要な情報が流されているが、防災行政無線の聞こえない難聴地域の解消について聞く。

答 防災行政無線の難聴地域への対策として、屋外拡声子局の増設や家の中に設置する「戸別受信機」の設置に取り組み、機材不足で必要設置台数より不足している状況。電話で確認できる「防災行政無線電話応答サービス」の導入やテレビリモコンのDボタンを押し、「さんさんテレビ情報提供サービス」の利用を開始する等難聴地域の解消に向けて取り組んでいる。

問 市民は耐震改修工事計画の申し込みをしても市の予算がないので順番が来ない、大工さんは仕事がなく困ると言われているが、市内の民家の耐震改修工事の予算を聞く。

答 住宅耐震改修工事費補助金の本年度当初予算は前年度比15棟分増の40棟分で、5200万円を計上。耐震化率は51・4%と低い水準で命を守るため、住宅の倒壊被害を防ぎ速やかな避難を開始する住宅耐震化の推進を図る。

田淵 信量 議員

☆室戸市庁舎について

問 住民投票について、令和2年に行われた国勢調査で、実際に室戸市に在住している人口は何人か。また、今回の住民投票日においても在住している人口数を聞く。

答 2020年の国勢調査の人口は、1万1742人で2月19日の住民投票の当日投票資格者数は1万883人。国勢調査人口と住民基本台帳の人口とは異なることは承知しているが、投票日当日、実際に本市に住んでいる方の数を把握することは困難である。

問 室戸市庁舎について、どのような説明を行い、市民の反応はどうかであったか聞く。

答 住民説明会では、事前に有権者の皆様に送付し、市庁舎整備に関する概要資料に基づき、移転建て替えの場合と耐震補強改修の場合の特長や課題について説明をした。その説明に対する参加者からの意見等については、移転建て替えに対しては、移転建て替えに比べて事業費が高額であることから、財源や他の施策

への影響、市民の負担増等の懸念の声が上がっていた。耐震補強改修に対しては、津波のことを考えた場合、現位置から移転が良いと思うがこれまで示してきた候補地よりもっと高い場所が良いのではないかとといった意見や、防災拠点施設となる市役所が津波浸水区域にあると災害応急活動に支障が出るのではといった懸念、また現庁舎の耐震補強改修を行っても約20年後には建て替えを検討しなければならぬのであれば、無駄にならないのではといった意見があった。

問 多くの市民に説明できるすべと、意見を吸い上げる方法はなかったか聞く。

答 すべての市民にご理解いただけるよう、説明会を市内41カ所で行った。都合により説明会に参加できない方も想定し、事前に有権者全員に概要資料を送付し、その内容について問い合わせがあった場合は、対応してきた。今回の投票において、制約等がある中で庁舎整備について市長としての考えを十分に訴えることが困難であったこともあり、市民の関心を十分に高めることができなかったことが、今回の投票に反映されたのではないかと。そのような中で、できるだけ多くの市民に説明できる場や意見を頂く方法については、現状においてできる限りのことは、取り組めたと考えている。

問 人口減少率が高く、少子高齢化が全国平均を上回るペースで進んでいく、この室戸市の現在と将来のことについて聞く。

答 人口減少問題など未曾有の厳しい実態がある中、活力を取り戻し再建できる豊かな資源と力がある。室戸市の再建に市民一丸となつていただくことが出来たら、必ず室戸市は再建できる。そして、どこよりも元気で活力のある魅力的な故郷に再建できると確信している。そうした意見を重く受け止め、現庁舎を耐震補強する際の地震・津波対策や浸水区域外に整備する防災拠点の在り方について、庁内及び関係者などの意見を取りまとめ、将来の改修や建て替えの積算を行い、費用面での比較検討ができる資料を専門業者に委託し、その結果を議員に報告し、意見を聞いた上、庁舎の方針を決定する。

町田 又一 議員

☆市役所本庁舎の地震等への対策や取り組みと今後の見通しについて

問 庁舎を高台移転した場合のメリットについて聞く。

答 巨大地震が発生した場合でも津波の被害を受けないこと。建物を免震構造とすることができ、震度6強から7程度の地震においても建物の倒壊及び崩壊の恐れがないことだ。そのため、震災時の迅速な災害応急活動や被災後でも市役所の業務継続が可能となり、早急にまちの復興・復旧活動が行える。また、市民の一時避難場所としての使用や支援物資などの受け入れも可能となる。

問 耐震補強等とした場合と移転建て替えとした場合の市の実質負担額の対比について聞く。

答 耐震補強等とした場合には、耐震補強と改修工事、仮設庁舎の設置で約15・9億円、地下設備や一階執務スペース等の移設のための増設工事で約5・5億円、防災機能の移転費で約1・5億円の合計約22・9億円が

市の実質負担額となり、事業実施時が17・2億円、後年度の償還額が約5・7億円となる。移転建て替えとした場合には、市の実質負担額は、約31・7億円となり、事業実施時が約19億円、後年度の償還額が約12・7億円となる。

問 耐震補強・改修工事となった場合の工事内容や工事期間について聞く。

答 耐震補強工事の内容としては、鉄骨ブレースの設置、壁のコンクリートの増し打ちや柱の巻き補強、耐震スリットの施工等。また改修工事の内容としては、壁の目地材の打ち換えや、ひび割れの処理、コンクリートの中硬化の進行を抑制するための表面の塗装など、これら以外に、仮設庁舎の設置工事を想定している。工事期間としては、4年から5年の期間を想定している。

問 海に近く庁舎のコンクリートの傷みが激しいことへの対応と専門家への状況調査の依頼について聞く。

答 今後、予定している専門業者への委託業務の中で、対応方法や現場の状況調査を行うなどして対処していく。

問 耐震補強工事は、地震の揺れに対して、倒壊の恐れ



を軽減させるだけでなく、建物自体の耐用年数は変わらないうちについて聞く。

耐震補強工事は、耐震診断の結果、耐震性が低いとされる箇所に補強の工事を行い、地震動に対する耐久性を増やすことが目的であり、建物自体の耐用年数を延ばすものではないとの認識をもって、住民説明会で説明を行ってきた。

問 庁舎が高台移転した場合の支払いについて聞く。

答 今3月補正では令和5年度分を前倒しして積み立てる予算を計上しており、補正後の基金残高は9億円となる。住民説明会で説明した事業費については、今後専門業者から費用面の資料等の結果を受けてから再度、起債額や市の実質負担額、支払いなど財政面について試算した上で示したいと考えている。新庁舎移転の場合、もしくは耐震補強の場合でも、今後の室戸市全体の事業内容を精査し、優先順位をしっかりとつけた上で、事業の見直しを行うほか、国や県などの有利な補助制度を活用するなど、健全で持続可能な財政運営に努め、新たな住民負担が生じないよう取り組んでいく。

堺 喜久美 議員

☆「SAWACH1型健康社会共創拠点」について

問 令和3年11月から、JSTの支援事業として、高知大学が代表機関・室戸市が幹事自治体として取り組んだ「共創の場形成支援プログラム」(育成型)から(本格的型)への審査で残念ながら採択されなかった要因と、今後の取り組みについて聞く。

答 従来の地域医療の支援とは異なる新たなアプローチで課題解決を図ろうとする野心的な提案であることや、大学と自治体の強固な連携関係が構築されていること等一定の評価を受ける一方、室戸市にヘルステック産業を集積させるという目標に対し、シナリオや具体的方策が十分でなく実現可能性が高いとの判断に至らなかったことや、企業等の参画に対し説明が不十分であること等である。今後の本市の対応としては、育成型の取り組みを契機としてこれまで培ってきた産学官金の連携を更に強固なものとし、本市の課題解決に取

り組んでまいりたいと考えている。

☆医療Maas車両の導入について

問 医療環境の脆弱な本市にあって市民が待望しているオンライン診療を可能とする医療Maas車両の導入はどのような形で実現できるか聞く。

答 3月中旬までには高知大学の方に納車され、その後室戸市へ搬入される。3月下旬に実証実験を行う。具体的な運用については、看護師2名が乗車し、患者宅や公共施設等に出向きモニターを通して診療所や大学にいる医師とオンラインで診療を行うことを予定している。

☆SDGsについて

問 本市は室戸ユネスコ世界ジオパークとなつて8年目、ユネスコの理念に基づいたSDGsに対し、本気になつて取り組みなければならぬ立場にある。「SDGs未来都市」に応募する考えを聞く。

答 「持続可能なまちづくり」や「地方創生」をめざす上では、重要な取り組みであると考えている。海洋深層水を活かしたブルーカーボン事業や、土佐備長炭の原木となるウバメ

ガシを育てるグリーンカーボン事業などを推進していくことで、SDGsの目標達成に貢献できると考える。

問 持続可能な社会づくりの担い手を育成するための、学校現場での取り組みについて聞く。

答 総合的な学習時間に地域の産業や歴史を通して地域を知り、地域への貢献などについて年齢に応じた取り組みを行っている。「わたしたちにできるSDGs」や男女別の名簿を廃止し、呼び方も「さん」に統一するなどジェンダー平等にも取り組んでいる。また、新しい中学校での制服をジェンダーレス化することなど取り組むこととしている。

☆脱炭素社会について

問 先日市長は「室戸市ゼロカーボンシティ宣言」を表明されたが、取り組みと課題について聞く。

答 ①海洋深層水を活かして、海藻の陸上養殖によるブルーカーボン事業。②ウバメガシのどんぐりから苗を育て山に植樹するグリーンカーボン事業。③公用車へのEV車の導入。④公共施設への太陽光パネルの導入。⑤ゴミ減量化の推進について取り組んでいく。課題として

は、市民への意識の啓発・啓蒙対策、CO<sub>2</sub>発生率の高い企業に対しての低炭素化可能となるハード整備に対する支援対策等である。



総務文教委員会委員長報告（条例・その他）

委員会開催日	令和5年3月10日
付託件数	10件
審査経過及び結果	下表のとおり

■ 議案第1号 室戸市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について

質疑内容	答弁内容	審査結果
質疑なし		原案可決

■ 議案第2号 室戸市個人情報保護審査会条例の制定について

質疑内容	答弁内容	審査結果
質疑なし		原案可決

■ 議案第3号 室戸市津波避難施設設置及び管理条例の一部改正について

質疑内容	答弁内容	審査結果
津波の浸水深に対する津波避難タワーの高さは十分であるか。	基本的に浸水深からプラス4メートルの高さ基準で建設しており、市内11基全てでこの基準を満たしている。	原案可決

■ 議案第4号 室戸市職員定数条例の一部改正について

質疑内容	答弁内容	審査結果
質疑なし		原案可決

■ 議案第5号 室戸市大学入学準備金貸与条例の一部改正について

質疑内容	答弁内容	審査結果
質疑なし		原案可決

■ 議案第6号 室戸市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

質疑内容	答弁内容	審査結果
質疑なし		原案可決

■ 議案第7号 室戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

質疑内容	答弁内容	審査結果
質疑なし		原案可決

■ 議案第8号 室戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

質疑内容	答弁内容	審査結果
質疑なし		原案可決



## 委員長報告

### ■ 議案第9号 こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

質疑内容	答弁内容	審査結果
質疑なし		原案可決

### ■ 議案第26号 高速バスターミナル施設における指定管理者の指定について

質疑内容	答弁内容	審査結果
質疑なし		原案可決



## 総務文教委員会委員長報告（予算）

委員会開催日 令和5年3月10日

付託件数 2件

審査経過及び結果 下表のとおり

### ■ 議案第12号 令和4年度室戸市一般会計補正予算（第12号）について 審査結果：原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
財政課	2-1-10 財政調整基金費	基金全体の残高について聞く。	普通会計ベースで約74億9,700万円である。特別会計が約2億9千万円あり、合わせると約77億円の基金残高となる。
総務課	質疑なし		
選挙管理委員会事務局	2-4-2-12 ポスター掲示場設置他委託料	ポスターの掲示場所数は決まっているのに、96万円もの減額となった理由について聞く。	入札減等によるものである。
財産管理課	7-5-3-21 市営住宅建替移転補償費	事業内容について聞く。	木造住宅やコンクリートブロック造の住宅から新設した第二大谷団地2号棟などに移転する際の補償費である。本年度実績2件であり、令和5年度へ74万7千円を繰越としている。
まちづくり推進課	2-1-6-18 生活バス路線運行維持費補助金	令和元年から2年にかけて補助金額の上がり幅が大きくなっているが、その理由について聞く。 路線の赤字額はいくらか。また国・県の補助金額はいくらになるのか聞く。	住民からの要望もあり、路線の再編を行った。結果走行距離が長くなり、補助金額が増額となった。 赤字額は1億4,440万8千円である。国の補助金が1,092万5千円、県の補助金が4,884万8千円である。市町村負担金としては、8,463万円である。
税務課	2-1-12-18 安芸広域市町村圏事務組合負担金	なぜ事務組合への負担金が減額補正されたのか。	事務等経費が下がったことや、移管件数が当初の想定よりも少なかったためである。
防災対策課	7-5-1-18 ブロック塀等対策推進補助金 住宅耐震改修工事費補助金 住宅耐震改修設計費補助金	減額の理由について聞く。	住宅所有者の申請時期や、工期の関係により減額となった。
産業振興課	6-1-2-18 企業立地促進事業費補助金	補助金内容について聞く。	当初予算では1件につき2千万円を3件分計上していたが、実績としては、1件分1,791万5千円の補助金支出となった。

市民課	4-2-2-12 一般廃棄物取扱委託業務委託料	1,500万円の減額理由について聞く。	収集運搬委託料は3年契約であり、令和3年から5年までの3か年分をまとめて入札を行った。その結果、各単年度毎に1,580万円の入札減が生じたため減額とした。
監査委員事務局	質疑なし		
福祉事務所	2-1-8-22 生活保護費国庫負担金返還金	多額の返還金が生じた理由について聞く。	国庫負担金を受けており、令和3年度の交付決定額と実績報告等との差引により生じる返還金である。
	3-3-2-19 生活保護扶助費	減額の理由について聞く。	コロナ禍のため、依然として受診控えが続いていることが減額の主な理由である。またコロナ感染症等の疾病については、別の国費で賄われるため、医療扶助の支出が少なくなり、減額となったものである。
保健介護課	3-1-4-12 老人憩の家解体工事設計委託料	解体する地域はどこか。	吉良川老人憩の家である。
	4-1-3-7 すこやか子育て祝金	300万円の減額理由について聞く。	出生数が見込みより少なかったためである。
人権啓発課	質疑なし		
学校保育課	9-1-2-1 地域おこし協力隊員報酬	地域おこし協力隊員が配置できなかったため144万円の減額となったのか。	室戸高校のコーディネーターとして1年分を計上していたが、今年の1月からの配置となったため、不用分を減額した。
地域医療対策課	4-1-6-12 ヘルステックなまちづくり構想調査委託料	事業未実施の理由について聞く。	これまでの事業の進捗の中で、室戸市に進出を考えているという事業者も出てきたことから、整備内容やどういった施設が望ましいか等については、委託事業によらず、それらの事業者と協議を進めていくこととしたため。
建設土木課	7-2-2-12 測量設計他委託料	2千万円の減額理由について聞く。	設計管理等の事業費確定や国費の割り当てが少なく減額となった。
観光ジオパーク推進課	6-1-4-18 室戸ジオパーク推進協議会補助金(運営費分)	826万5千円の減額理由について聞く。	新型コロナウイルスの影響で一部の会議がオンラインでの開催であったり、全国大会等の参加者が想定より少なかったことなどの理由により減額となった。
消防本部	8-1-4 消防施設費	各節の減額理由は何か。	全て入札減によるものである。
生涯学習課	9-1-5-20 貸付金	昨年度と本年度での申請者数について聞く。	奨学資金貸付金は、令和3年度が15名、令和4年度が14名。大学入学準備金が、令和3年度が2名、令和4年度が1名である。

■ 議案第15号 令和5年度室戸市一般会計予算について  
審査結果：原案可決

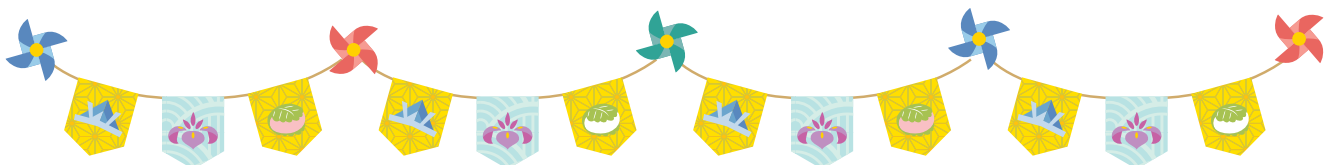
所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
財政課	2-1-10 財政調整基金費	今回計上したのは利子分だけか聞く。	令和5年度に発生する見込利子分を今回計上している。
総務課	2-1-7 出張所費	各出張所の職員配置について聞く。	市内4か所の出張所において、会計年度任用職員を2名体制で配置している。
選挙管理委員会事務局	2-4-2 高知県議会議員選挙費	選挙日はいつか。	4月9日である。
会計課	質疑なし		



# 委員長報告

財産管理課	7-5-1-18 老朽住宅除却 事業費補助金	令和4年度の実績と、令和5年度 の予定件数について聞く。	令和4年度の実績件数は26件である。令和5年度は、現年分 が22件、令和4年度の繰越が8件で計30件を予定している。
	7-5-3-12 市営住宅解体 設計委託料	上段の解体する住宅はどの住 宅か。	解体場所は、上段団地で現在4世帯が入居しているところ と、西の浜団地への移転で現在空き団地になっているところ になる。
まちづくり推進課	2-1-6-12 公共交通活性化 事業委託料	コミュニティバスは、羽根町や佐 喜浜町から室戸診療所まで運 行はできないのか。	国道をメインで走るバスと旧5か町村毎に走るバスとでさび分 けをして運行している。利用者が少ない現状もあり、全体的な 公共交通の見直しを今後検討していきたいと考えている。
	2-1-6-18 友好交流協会 補助金	令和5年度から再開するのか。	オーストラリアからの派遣はできないとの回答が得られてい る。当市からの派遣については、現在確認中である。
税務課	2-1-12-18 安芸広域市町村圏 事務組合負担金	移管件数は何件か。	40件を予定している。
防災対策課	2-1-13-8 普通旅費	東日本への視察の詳細につい て聞く。	令和5年度に事前復興まちづくり計画策定を予定しており、 宮城県石巻市に市職員5名(防災対策課2名、まちづくり推 進課1名、財産管理課1名、建設土木課1名)が視察を行う。 視察内容は内部で事前に協議を行い抽出した課題につい て行う予定である。
	7-5-1-12 住宅耐震診断 戸別訪問委託料	事業内容について聞く。	元地区から吉良川地区の昭和56年5月31日以前に着手した 住宅を対象に戸別訪問を行う。室戸市シルバー人材センター に訪問を委託し、制度の周知や耐震防災に関する相談、耐 震に関するアンケート調査等耐震に関する啓発を行うもので ある。
産業振興課	5-3-2-12 委託型地域 おこし協力隊 活動委託料	事業内容について聞く。	水産業を担うための地域おこし協力隊12名分の人件費や 研修費等の活動費を計上している。委託先は室戸市内の大 敷組合である。
	5-3-2-12 陸上養殖施設等 適地調査委託料	事業内容について聞く。	企業誘致等も含めた陸上養殖の可能性を検討するための 委託料である。廃校等の遊休施設を中心に適正候補地の 抽出や法令規制の調査、簡易な造成計画・排水計画等も委 託したいと考えている。
市民課	4-2-2-18 新たな管理型産業 廃棄物最終処分場 整備事業費負担金	整備場所はどこか。	高知県が佐川町に整備する。
監査委員事務局	質疑なし		
福祉事務所	3-2-1-19 児童手当	所得制限は設けられている のか。また延べ人数で何名分 を計上しているのか。	一定の所得制限はある。予算は児童8,940名、1か月当たり 745名分を計上している。
保健介護課	質疑なし		
人権啓発課	質疑なし		
学校保育課	3-2-1-12 子ども子育て支援 計画策定ニーズ 調査委託料	どういったかたちでニーズ調 査をされるのか聞く。	保護者の就労状況や延長保育・放課後児童クラブの利用等 について等のアンケート調査委託料である。
	9-1-2-12 室戸高校 公設塾委託料	塾を利用している人数は何名 か。また利用することで成績が 向上するなどの効果はみられて いるのか。	令和4年度の利用者は最終2名であった。人数も少なかったた め、学力向上の効果があつたとは言えない。令和5年度は補習 授業の一環として、1・2年生の2ホームの生徒が受講する予定 であり、効果についても検証できるのではないかと考えている。

地域医療対策課	4-1-6-17 事務用備品 購入費	実証実験のための妊婦に対応できる備品とのことだがどうい う備品を購入するのか。	高知大学との覚書事業に基づき行 う産婦人科の実証実験に係る備 品の購入費用である。室戸診療 所においてポータブルエコーや 分娩監視装置を用い、高知医大 等の医師がオンラインで診察を 行う予定である。
建設土木課	5-1-5-18 農村地域防災減災 県営事業負担金	ため池4か所の場所はどこか。	西山台地で3池(甚太ヶ鼻池、 太田池、炭焼谷2号池)、黒見 地区の浅田池の計4池を予定し ている。
	7-1-2-12 地籍調査等 委託料	令和5年度の調査地区につい て聞く。	津波浸水区域は、元地区の行当 ・新村・平尾、吉良川町の黒 耳、羽根町の田の中・坂本・明 神川・下中山辺りである。山間 部は吉良川町の釣の口辺りを予 定している。
観光ジオパーク 推進課	6-1-3-12 むろと海の学校 海水取水施設整備 測量設計委託料	以前ボーリング調査を行ってい た箇所からは、海水が取水でき なかったということか。	地下からの海水取水は不可能と いう結論が出た。椎名漁港の 導流堤に取水口を設け、海水を 取水するための測量設計委託料 である。
	6-1-3-14 尾崎海岸仮設 トイレ設置工事費	トイレの設置場所はどこか。ま たどのような仮設トイレを設置 する予定か。	地元と協議中ではあるが、以前 の場所よりも上に設置したいと 考えている。工事現場等で設置 されている仮設トイレよりも少 し良いものを設置予定である。
	7-4-2-18 室戸広域公園 県営事業負担金	事業内容について聞く。	スケートパークの大規模改修 を予定している。
生涯学習課	9-1-5-20 大学入学 準備金	私立大学など入学金の振込み が11月等早い時期の場合、5 月の支払いでは遅いと以前指 摘をしていたが、解消されてい るのか。今後の検討はどのよう に進めていくのか。	令和5年度に関しては解消には 至っていない。全国の事例を 調査中であり、早い時期での支 払いについて、室戸市として何 かできることはないか検討して いく。
	8-1-4-14 消防施設整備 工事費	用地買収・工事ともに令和5年 度で行うのか。	用地購入費も予算計上しており 、令和5年度に造成工事まで行 う予定である。
消防本部	8-1-4-17 消防車等 購入費	2,500万円程度で救急車は購 入できるのか。	救急車の車体のみで2,500万 円である。資機材に関しては 現行の車両から移設して使用 する。





## 産業厚生委員会委員長報告（条例・その他）

委員会開催日 令和5年3月10日

付託件数 6件

審査経過 下表のとおり

### ■ 議案第10号：室戸市国民健康保険条例の一部改正について

質疑内容	答弁内容	審査結果
出産育児一時金で高知県の場合、80,000円上がれば十分足りるのか。	令和4年度までは42万円の支給。地域だったり、出産の仕方だったり、病院の規模で金額が変わってくるのだが、その額の前後の金額で出産されている。	原案可決
出産育児一時金が上がった分、出産費用が上がっていくということはないか。	病院の医療行為に従った点数があることから、上がっていくようなことはないと考えている。	

### ■ 議案第11号：室戸市水道給水条例の一部改正について

質疑内容	答弁内容	審査結果
質疑なし		原案可決

### ■ 議案第23号：室戸市デイサービスセンターにおける指定管理者の指定について

質疑内容	答弁内容	審査結果
質疑なし		原案可決

### ■ 議案第24号：室戸市農業農村活性化農業構造改善事業施設（産地形成促進施設、地域食材供給施設、附帯施設）における指定管理者の指定について

質疑内容	答弁内容	審査結果
質疑なし		原案可決

### ■ 議案第25号：室戸市農業農村活性化農業構造改善事業施設（地域資源総合管理施設）における指定管理者の指定について

質疑内容	答弁内容	審査結果
委託料は提案時に決めたら、5年間金額は変わらないのか。	指定管理者と協議のうえ、認められる原因があった場合は、追加を行う可能性はあると考える。	原案可決

### ■ 議案第27号：安芸広域障害支援区分認定審査会を共同設置する普通地方公共団体の数の減少及び同審査会共同設置規約の一部変更について

質疑内容	答弁内容	審査結果
質疑なし		原案可決

産業厚生委員会委員長報告（予算）

委員会開催日	令和5年3月10日
付託件数	9件
審査経過及び結果	下表のとおり

■ 議案第13号 令和4年度室戸市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）について  
 審査結果：原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
市民課	質疑なし		
地域医療対策課			

■ 議案第14号 令和4年度室戸市海洋深層水給水事業特別会計補正予算（第2号）について  
 審査結果：原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
産業振興課	質疑なし		

■ 議案第16号 令和5年度室戸市国民健康保険事業特別会計予算について  
 審査結果：原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
市民課	5-1-1 (歳入)	繰入金の主な減額理由は何か。	令和4年度に国保のシステム改修で3,300万円事務費繰入金で計上しており、その分の減額が大きい。
地域医療対策課	4-1-1 (歳入)	繰入金の主な減額理由は何か。	診療日数の減少及び常勤医師から非常勤医師へ変更したことにより、給与分が減額したことなどによるもの。

■ 議案第17号 令和5年度室戸市介護認定審査会運営事業特別会計予算について  
 審査結果：原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
保健介護課		質疑なし	

■ 議案第18号 令和5年度室戸市介護保険事業特別会計予算について  
 審査結果：原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
保健介護課	1-1-1 (歳入)	保険料の予算が去年よりアップしているが、被保険者数が原因しているのか。	当初予算の計上の仕方として、歳出に対して国・県・市の負担割合が決まっており、残りの分を介護保険料で計上している。歳出が増えたことに伴い、予算額が増えている。
	3-4-2 (歳出)	扶助費で、家族介護慰労事業費とはどんな内容の事業か。また認知症初期支援チーム報償費のメンバー構成と活動内容について聞く。	家族介護慰労事業とは、要介護4と5の方が対象で、家族が介護サービスを使わずに介護をしている場合に年間20万円の助成を行っている。認知症初期支援チームとは、医師や包括支援センターの保健師からなるチームで認知症初期等の相談があった方々に対し、医療等に繋げる活動を行っている。



# 委員長報告

■ 議案第19号 令和5年度室戸市海洋深層水給水事業特別会計予算について  
 審査結果 : 原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
産業 振興課	3-1-1 (歳入)	一般会計からの繰入金増の理由は何か。	関連企業が1社撤退したことにより、使用料が減額となるため、一般会計からの繰入金を増額するもの。
		1社撤退後、新しい企業の進出の見込みはあるか。	工場の跡地に対し、何社か問い合わせや見学等を行っているが、具体的な話しまでには至っていない。

■ 議案第20号 令和5年度室戸市障害支援区分認定審査会運営事業特別会計予算について  
 審査結果 : 原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
保健 介護課	1-1-1 (歳出)	東洋町が退けば、審査委員の数は減るのか。	審査委員は5名と決まっていて、東洋町が抜けることによる減はない。

■ 議案第21号 令和5年度室戸市後期高齢者医療事業特別会計予算について  
 審査結果 : 原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
市民課	2-1-1 (歳入)	督促手数料が減額になっている理由は何か。	督促手数料が条例で廃止になり、来年度から取らないことから減額になっている。予算計上分は滞納分の督促手数料である。

■ 議案第22号 令和5年度室戸市水道事業会計予算について  
 審査結果 : 原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
水道局		企業債の状況はどうか。	事業費に見合った企業債を返済の金額を見ながら借り入れる金額を調整し、起債を減らすようにしている。
		給水収益が落ちているが、令和5年度は歳入歳出は見合っているのか。	給水収益が人口減で下がっているため、できるだけ経費削減をし、令和5年度の予算組みをしている。今後、料金の改定を検討していく。



閉会中の主な議会活動

- 12月1日 令和4年第3回安芸広域市町村圏事務組合議会定例会に議長出席
- 12月25日 むろとdeマーケットに副議長出席
- 12月26日 令和4年第3回安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合議会定例会に議長出席
- 1月3日 令和5年成人式に議長出席
- 1月4日 議会運営委員会開催
- 1月12日 女性の農業委員等への登用に関する要請活動に議長出席
- 1月16日 ラオン高校野球部室戸合宿歓迎セレモニーに副議長出席
- 2月12日 室戸市春の観光びらきに議長出席
- 2月13日 第97回高知県広域食肉センター事務組合議会定例会に関係議員出席
- 2月28日 議会運営委員会開催
- 3月1日 令和5年第1回安芸広域市町村圏事務組合議会定例会に議長出席

定例会の傍聴にお忙しくて  
来られない市民の皆様へ

行政の動きがご理解頂けるように編集委員一同、「簡明で判り易い紙面に!」の思いを込めて議会だよりを編集いたしました。

市民が安心して暮らせる郷土を目指し議員一同、より一層の努力をしてまいりますので、今後共ご指導ご鞭撻をよろしく願いたします。

〈編集委員一同〉

議会の傍聴に  
おいでください。

次の議会定例会は  
6月中旬です。

議会事務局

☎22-5140

